

# 平成29年度 都倫研 第一回読書会のご案内

東洋女子高等学校

上野 太祐

室町時代に生きた世阿弥（1363?–1443?）は、その父観阿弥（1333–1384）とともに能の大成者として知られ、およそ二十もの秘伝の書（伝書）を残しております。なかでもよく知られているのが、『風姿花伝』でしょう。その教えは、能の世界に留まらず、私たちの生にまで広げて読むことができるかもしれません。ふるってご参加ください。

日時： 2017（平成29）年8月27日

場所： 首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス（秋葉原ダイビル12F）  
（JR秋葉原駅 徒歩1分）

推奨テキスト： 『風姿花伝・三道』（竹本幹夫校注・角川ソフィア文庫・2009）

本文、脚注、現代語訳、解説が揃っているベスト版です。



報告者は、このテキストを用います。特に『風姿花伝』の序、第一「年来稽古」、第二「物学」、第三「問答」、第四「神儀」、第五「奥儀」、第七「別紙」のうち、よく知られた箇所や世阿弥の芸道論の特色が出ている箇所をとりあげて報告したいと思います。

※この他お手頃な『風姿花伝』は、以下のものがございます。

【本文】 岩波文庫（野上豊一郎編）、講談社文庫（川瀬一馬編）

【現代語訳】 PHP エディターズグループ（水野聡） など多数。

## 参考図書のご案内

土屋恵一郎『100分de名著 風姿花伝』（NHK出版・2015）



増田正造『世阿弥の世界』（集英社・2015）



上野太祐『花伝う花—世阿弥伝書の思想—』（晃洋書房・2017）

